

# 個別医療機関ごとの 具体的な対応方針について

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

## 具体的な対応方針の概要①

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

- 本圏域において策定の対象となる47医療機関（一般病床又は療養病床を有する病院・診療所）のうち、45箇所から本調査への回答協力が得られた。

### 2025年に担う役割と機能別病床

- ・ 昨年度作成した一覧表内容に関して、令和元年9月末時点に把握した内容を更新

新たに回答：1 医療機関（病院）

内容変更：1 医療機関（病院）

**着色欄**：新たに回答のあった施設及び変更事項として回答のあった医療機関

**赤字下線**：昨年度の内容から変更のあった箇所

## 具体的対応方針の概要② ～非稼働病棟の今後の見通しと解消状況～

- 本圏域において、2019年7月1日時点で昨年に続き稼働していない、もしくは回答がない医療機関は3箇所であった。
- 2019年7月1日時点で、（一部）再稼働との報告があったのは6箇所であった。

### 非稼働病棟（病床が全て稼働していない病棟）について

- ・ 昨年度作成した一覧表について2019年7月1日時点で調査をした結果に基づき、本圏域に係る情報について内容を更新
- 「非稼働病棟の今後の見通し等」の一覧表の状況説明
  - 継：昨年の報告から引き続き稼働していないと回答があった医療機関
  - 新：今年度の報告で非稼働病棟があると新たに回答があった医療機関
  - 未：今年度の状況について回答がない医療機関
- 「非稼働病棟の解消状況等」の一覧表の状況説明
  - 全部：今年度の報告で非稼働病床をすべて解消したと回答があった医療機関
  - 一部：昨年度の報告で非稼働病棟があると回答があった医療機関のうち、今年度の報告で非稼働病棟が確認できなかった医療機関

## 具体的対応方針の変更時の報告のお願い

「地域医療構想の進め方について」（平成30年2月7日医政地発0207第1号）に基づき、毎年度、個別の医療機関における2025年における具体的対応方針について協議する必要がある。

国の求めの対応として、毎年、地域医療構想調整会議において、すでに策定いただいている各医療機関毎の具体的対応方針の内容について、整備計画変更時にご報告いただき、一覧の内容を更新していくこととしたい。

**具体的対応方針の未策定、対応方針の変更、病床機能の変更を伴う施設整備に変更が生じた場合には本調査への御協力をお願いしたい。**

具体的対応方針の変更等があった場合は、令和元年8月20日付け健福第758号「2025年における医療機関ごとの具体的対応方針の今後の協議の進め方及び手続き等について（依頼）」に基づき必要な手続き等をお願いします。

※千葉県ホームページから調査票(エクセル)がダウンロードできます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/chiikiiryokousou.html>

ホーム > くらし・福祉・健康 > 健康・医療 > 保健医療政策 > 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議





2025年に担う役割と機能別病床

No.	医療機関名	2025年に担う役割(予定を含む)											2025年における機能別病床											補助金活用予定								
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他	補足	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	休棟等	移行予定	備考	整備変更理由等										
																							2025		2025	2025	2025	2025	2025	2025	2025	2025
																							5		10	(10)	(7)	19	19	(11)	(14)	18
34	たて産婦人科佐倉分院	○												5																		
35	医療法人社団芽ばえの会春成祥子レディスクリニック						○							10																		
36	医療法人社団陽政会長岡産婦人科クリニック													(10)																		
37	医療法人社団陽政会フェリス長岡													(7)																		
38	医療法人社団誠仁会まほ倉クリニック										○			19																		
39	医療法人社団爽愛会小林循環器クリニック										○			19																		
40	医療法人社団工藤外科内科																															
41	いしいクリニック																															
42	岩沢クリニック																															
43	医療法人社団誠仁会まほ成田クリニック																															
44	医療法人社団美修会松岸レディスクリニック																															
45	医療法人社団鴻志会日吉台レディスクリニック																															
46	医療法人社団明生会東葉クリニックエフホー泌尿器科																															
47	円立産婦人科																															

注) 「補助金活用予定」欄については、回復期リハビリテーション病棟等整備事業(回復期リハ、地域包括ケアへの転換)又は地域中核医療機関整備促進事業(地域の中核となる公的医療機関等のみ対象)の活用を検討している(又は現在補助を受けている)医療機関に○をつけています。

非稼働病棟（2019年7月1日時点）の今後の見通し等

【印旛保健医療圏】

状況 No.	医療機関名	非稼働 病棟数	病棟の 病床数	病床 種別	今後の 見込み	(対応方針未定の項目については空欄)				再稼働するための課題等				備考	
						対応予定時期	病床 機能	入院料	診療科	人員不足		患者減少	施設老朽化		その他
										医師	看護師 その他職員				
【病院】															
1 継	医療法人沖繩徳洲会四街道徳洲会病院	1	36	一般	再稼働	2020年2月	急性期 急性期	急性期一般4	外科					○	平成30年11月に急性期一般で5階西病棟38床稼働し、現在の非稼働数36床 【課題】産科病棟のつくりととなっているので一般病棟への改修工事が必要(11月から改修工事予定)
【診療所】															
2 未	いしいクリニック	1	9		未定										現在、分娩の取扱いを中止しており休床中 【課題】透析患者さんは、重症化又は通院困難で、長期入院患者がおおくなり、ベッドが回転しない(退院後に入所できる介護施設等との連携確保)
3 新	医療法人社団明生会東葉クリニック ホート	1	19	一般	再稼働			有床診(一般)	人工透析外科					○	

注1) 「状況」欄の記載は以下のとおりとする。

継 … 昨年度の報告から引き続き稼働していないと回答があった医療機関

新 … 今年度の報告で非稼働病棟があると新たに回答があった医療機関

未 … 今年度の状況について回答がない医療機関(※ 記載内容は昨年度の報告内容を参考として記載)

注2) 昨年度の調査時点において非稼働病棟として報告された医療機関のうち、当該病棟の全部又は一部を再稼働等した医療機関については別掲する。

非稼働病棟の解消状況等

昨年度調査時に非稼働病棟があった医療機関のうち、今年度の調査までに非稼働を解消したものを本表に別掲しています。なお、病棟の一部再稼働したもののについても、病棟単位での非稼働は解消していることから併せて掲載しています。

【印旛保健医療圏】

状況 No.	医療機関名	非稼働 病棟数	病棟の 病床数	病床 種別	今後の 見込み	再稼働するための課題等					備考	
						(対応方針未定の項目については空欄)						
						対応予定時期	病床 機能	入院料	診療科	人員不足 医師 看護師 その他		患者減少
【病院】												
1	一部 独立行政法人国立病院機構下志津病院	0									○	【現状】各病棟で一部非稼働がある(計69床) 【今後の見込み】全病床で再稼働を予定しているが時期は未定 【課題】施設が老朽化しており、建て替えを計画しているが、時期については未定
2	一部 聖隷佐倉市民病院	0										【現状】7月1日時点では96床の非稼働があったが、今年10月に新病棟が完成し、9病棟すべてが稼働している(各病棟で一部非稼働がある(計62床)) 【今後の見通し】2023年4月までに全病床の再稼働を予定しておりますが、患者数・医療従事者の増加に合わせて段階的な増床も検討しております。
3	全部 医療法人徳洲会大日徳洲会病院	0										【現状】非稼働病床なし
4	全部 医療法人みつや会新八街総合病院	0										【現状】非稼働病床なし
5	一部 医療法人社団千葉光徳会中沢病院 (新：千葉しずい病院)	0									○	【現状】2019年3月より病棟開床(24床)したことにより、日稼働病床減床(44床→20床) 【今後の見込み】新築移転予定、内科の療養病棟として再稼働予定(2019年12月)
6	全部 医療法人徳洲会成田富里徳洲会病院	0										【現状】非稼働病床なし

注1) 「状況」欄の記載は以下のとおりとする。

- 全部 … 今年度の報告で非稼働病床をすべて解消したと回答があった医療機関
- 一部 … 昨年度の報告で非稼働病棟があると回答があった医療機関のうち、今年度の報告で非稼働病棟が確認できなかった医療機関

注2) 本表に別掲された医療機関については、病棟単位での非稼働が解消していることから、次回以降の会議資料からは削除する。

病院・有床診療所に係る整備計画書（具体的対応方針）

1 基本情報

法人名	医療法人社団 千葉光徳会
医療機関名	中沢病院 (新) 千葉しすい病院
所在地	千葉県富里市中沢 1596 番地 5 (新) 千葉県印旛郡酒々井町上岩橋字大崎 1035 番

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

2 整備内容等（該当項目に☑）

整備内容	<input checked="" type="checkbox"/> 新築(建替含む)	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> 転換(内部改修等)
財政支援	<input type="checkbox"/> 特別交付税措置	<input type="checkbox"/> 特別償却制度	<input type="checkbox"/> 県補助金	

※ 財政支援については、提出時点で申請予定の内容を記載してください。

3 今後担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
整備前											○
整備後											○
その他の内訳及び補足等	慢性期医療、回復期医療、地域包括ケア医療										

4 整備後の診療科

診療科名	整備前	内科、精神科、リハビリテーション科
	整備後	内科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科

5 病床機能及び入院料

	整備前	整備後	届出予定の入院料	
			機能	床数
4 機能 合計	床	床		
高度急性期	床	床		
急性期	床	床		
回復期	床	41 床		R2. 2 療養病棟から回復期リハ病棟へ変更予定
慢性期	291 床	270 床		R1. 12 月移転予定
人間ドック等	床	床		
休棟等	20 床	床		

6 病床機能を変更する理由等（現在と整備後の機能別病床数を変更する場合のみ）

新築移転に伴い、地域性やニーズを考慮し、41床分回復期リハビリテーション病棟へ変更予定。

新築移転に伴い、設備の充実、人員増員等で許可病床をフル稼働する。

7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

現在、連携病院、連携施設と契約しそれぞれのニーズに合った医療提供ができるように連携ネットワークを構築中。

8 整備スケジュール

供用開始予定	令和2年 2月予定
その他補足	

2025年における医療機関ごとの具体的対応方針に関する調査票

1 基本情報

法人名	学校法人国際医療福祉大学
医療機関名	国際医療福祉大学成田病院
所在地	成田市畑ヶ田 852 番地
担当者	院長予定者 宮崎 勝

2 2025年に貴院が担う役割（予定を含む）に○をつけてください。

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
2020.4.1時点	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2025年の見込	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他の内訳及び補足等											

3 整備後の診療科

診療科名	2020.4.1時点	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、内分泌代謝内科、腎臓内科、脳神経内科、心療内科、感染症内科、老年内科、アレルギー・リウマチ科、外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、移植外科、内分泌外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急診療科、歯科口腔外科
	2025年の見込	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、内分泌代謝内科、腎臓内科、脳神経内科、心療内科、感染症内科、老年内科、アレルギー・リウマチ科、外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、移植外科、内分泌外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急診療科、歯科口腔外科

#### 4 病床機能及び入院料

	2020. 4. 1 時点	2025 年 見込み	届出予定の入院料
4 機能 合計	床	床	
高度急性期	300 床	600 床	※
急性期	床	床	
回復期	床	床	
慢性期	床	床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	300 床	床	

※2020/4/1 開院より、急性期一般入院基本料 1 取得のための体制を整備いたします。  
 また、MFICU・NICU・GCU・PHCU・ICU・SCU・HCU 等、体制が整った段階でそれに伴う  
 総合周産期特定集中治療室管理料・新生児特定集中治療室管理料・新生児治療回復  
 室入院管理料・小児入院医療管理料・特定集中治療室管理料・脳卒中ケアユニット  
 入院医療管理料・ハイケアユニット入院医療管理料を届出予定です。  
 さらには、特定機能病院承認後は、特定機能病院入院基本料 7 対 1 を届出予定です。

#### 5 病床機能のあり方に対する考え

本学は、平成 29 年 4 月、グローバルスタンダードに対応した国際性豊かな医学教育により、高い総合的な診療能力を身に付けた国際的な医療人材の育成を目指す医学部を成田市公津の杜に開学しました。この医学部附属病院の本院として国際医療福祉大学成田病院（以下「大学病院」という）を令和 2 年 4 月、成田市畑ヶ田に開院します。

大学病院は、医学部本院として教育機能、研究機能を充実させるほか、臨床機能においても充実を図り、地域医療に貢献したいと考えております。

例えば、救急医療や ICU を整備するほか、全身麻酔下での高難度な手術や、鏡視下・ロボット手術等を実施するなど、大学病院として高度で先進的な医療を提供してまいります。

このほか、研究的な機能として以下のセンターを整備いたします。

「感染症国際研究センター」は、感染症の診療、研究及び感染対策の各領域の専門家で組織し、感染症の診療、研究を行い、海外から持ち込まれる感染症に対し、国内での拡散を防ぐ初動体制を築きます。また、地域の医療機関に対し、国内外の感染症の情報の提供を行ったり、感染対策の啓蒙活動を行ってまいります。

「ゲノム医学研究センター」では、研究施設として医学部に「ゲノム医学研究所」を開設しました。「ゲノム医学研究所」では、疾患の発症原因の解明をめざしたゲノム医学研究を推進します。その研究成果を成田病院において実診療に導入する予定です。

「国際遠隔診断センター」は、成田病院と東南アジアの大学や医療機関、本学の海

外拠点等を専用線で結び、海外の症例のうち、放射線画像診断と病理診断について、遠隔でサポートする予定です。

## 6 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

感染症や救急医療、災害医療などの政策医療への取り組みにつきましては、千葉県への要請や地元からの要請に対し、地域の中での分担を考えながら、対応したいと考えております。

特に、急速に増加している外国人旅行者の滞在中のケガ・病気への対応や、海外との往来により持ち込まれる新興感染症などの国内での拡散を防ぐ初動体制を整備してまいります。

地域の医療機関との連携につきましては、近隣の病院、診療所からの紹介などには、積極的に受け入れたいと考えております。

印旛市郡医師会と意見交換会を定期的実施しており、今後も引き続き意見交換を行ってまいります。

## 7 整備スケジュール

供用開始予定	2020年4月予定
その他補足	休床病床は、2022年までの3年間で開床予定です。